

2024 年度第 1 回産業医部会幹事会議事録

○開催日時：2024(R6)年 5 月 12 日（日）9：00～12：05

○開催方法：Web 会議（ZOOM）

○出欠状況一覧(敬称略)：

- ・出席：北海道(原)、東北(各務、萱原)、関東(大橋、加藤、福本、宮本)、北陸・甲信越(塚原、西澤)、東海(石川、遠田)、近畿(岩根、深井、森口)、中国(真鍋、塩田)、四国(斎藤、杉原)、九州(池上、小田原)、専門医制度担当理事(大神)、担当理事(西田)、監事(深澤)、
- ・欠席：羽賀、谷山、西、黒崎

0. 部会長挨拶

- ・会の開始に先立ち、宮本部会長から、本日の審議内容等に関して挨拶がなされた。

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認【資料1】 石川

- ・議事録の確認の流れの説明があり、修正事項があれば 1 週間以内に連絡して頂きたい旨と、それを受けて確定とする流れについて報告された。

②第 97 回学会の産業医部会長賞について【資料なし】 宮本、遠田

- ・選出状況（部会員以外が最終選考に残って苦労した点含む）の説明がなされた。
- ・当日表彰の方法についての確認がなされた。
- ・来年度以降の選出のあり方（事前確認（属性含む選出基準を満たしているのかどうか）、選考方法、課題が生じた場合の時点の選出の方法等々）についての意見交換がなされた

③2023 年度事業報告について【資料2】 石川

- ・資料に沿って説明があり、総会の資料としても活用する旨および例年と同じ事と例年とは違う事とを対比しながら説明がなされた。
- ・部会長より修正点についての確認と修正指示がなされた。

④2023 年度会計報告・会計監査報告について【資料3】 加藤、深井、深澤

- ・資料に沿って 2023 年度の決算について説明した。約 21 万円の黒字状況である事、公益財団法人として内部留保できる適正額の上限は、1 年分の経費相当とされているが、2023 年度の期末残高が、今年度の経常費用を約 3 万円上回っていたため、2024 年度は、内部留保を適正額の範囲に収めるために、部会員対象の事業の一層の充実が必要であることについて説明がなされた。
- ・監査報告状況について説明がなされた。
- ・予算の方向性（125 万程度の赤字の見込み）について口頭で報告がなされた。

⑤化学物質の自主管理について 宮本

- ・資料に沿って説明があり、作成の際に表現で苦労した点、業務執行理事会が指名する有識者から査読意見を頂いて適切に修正した点、作成途中に安衛法令で徐々に詳細が定められた文言や方向性を反映して修正してきた点、最終的な方向性について WG メンバーで意見集約した点につ

いての経緯が紹介された。

・幹事会終了後、公表に至る手続きの流れ（広報委員会で最終体裁や公開履歴管理等があると思われる）が確認された。⇒幹事会后に、既に業務執行理事会の承認を得て部会での公表が許可されていることから、そのまま部会ウェブサイトに掲載して良く、後に学会ウェブサイトでもリンクが貼られることが判明し、部会公開を実行した。

⑥OHAS 終了後の研修会について【資料4】 深井

・資料に沿って、今迄 OHAS が担ってきた役割と、今後産業医ジュニアプロフェSSIONALコース（仮称）が担っていく事の役割についての違い、対象の違い、プログラムの違い、参加者同士の交流の意味合いも持たせること、等々について説明があった。また現状の検討の経緯、検討メンバー、今後の検討の進め方、検討にあたっての課題（日程、開催時期、開催方法等々）についての報告がなされた。

- ・企画委員やその任期、実行委員の任期についての確認がなされ、実行委員の任期は4年を想定しており初期実行委員の任期は2年を想定している旨の説明がなされ、企画委員の入れ替えは半分毎に行う等の検討課題について意見交換がなされた。
- ・プログラムのあり方について意見交換がなされ、OHAS が担ってきた専門医試験の準備プログラムとしてのあり方は踏襲しない形とする必要性と、一方で専門医試験を受験する方を増やしていくプログラムとなるように意識する重要性についての意見交換がなされた。
- ・大久保利晃先生に検討の経緯含め報告する流れの確認、産業医学推進研究会の動き（2024年度のみ開催方向）の確認がなされた。

⑦2024年度プロフェSSIONALコースについて・助成金増額について【資料5】

・助成金も含めた研修会の会計の在り方について 加藤

・資料に沿って説明があり、予算状況（労働衛生会館からの補助金廃止、必要経費の増額（教育資料やインフラ整備等々）の見込みから、当面の資金ショート避けるため、臨時での医部会助成金増額（10万）の依頼がなされた。増額となった背景や来年度に向けて、研修会の補助金のあり方について検討していく方向性についても確認後、了承された。

⑧専門医制度（社会医学系、日本産業衛生学会）について 大神、池上

- ・専攻医試験（2回/年）や専門医試験の現状について報告があり、今後の方向性についてのあり方検討会（WG）を持つことが先日の理事会で了承され、資料を画面共有のうえ産業医部会からもメンバーを選出頂きたい旨の提案があり、選出メンバーの要件についての確認がなされ、幹事間の役割の現状を確認後、池上幹事が担当されることの確認がなされた。
- ・専門医試験の抱える課題についての幹事間の認識の確認（専門医試験の応募者数の増減の背景にある動き、専門医に求めるあり方の現状と今後、情報共有のあり方）が補足的になされた。

⑨医部会報について（編集委員会）【資料6】 原

- ・資料に沿って、発行・編集作業等の現状報告がなされた。執筆者（部会報担当幹事の先生方）への依頼についての協力要請があり、新たに幹事になられる先生方のご挨拶を掲載する流れ（時期含む）についての確認がなされた。
- ・新幹事に5/25幹事会にオブザーバー参加頂く事について提案がなされ承認された。

⑩ポスター賞選考と表彰方法について 西澤

- ・資料に沿って、改訂されたマニュアルに基づき第33回協議会で無事に選考がなされた旨の報告がなされ、第34回での流れの報告と確認（選出対象の抽出と前提条件の確認、審査委員の負荷状況、選考方法のあり方）がなされた。
- ・部会員であるかどうかの確認のあり方について意見交換（学会運営事務局が学会への登録状況についての確認を行う、一次あるいは二次選考段階で本人に確認を行う等々）がなされた。
- ・外部審査員を設けていることの経緯及び必要性についての確認がなされ、必ずしも外部審査員を設ける必要性がないこととなった。
- ・優秀賞の表彰数のあり方について意見交換がなされ、状況に応じて1ないし2演題の選出とし、具体的には審査員に一任しつつ運営していく方向性が確認された。

⑪学会ホームページ、部会ホームページ、学会のメルマガについて 黒崎

- ・資料に沿って説明がなされた。

⑫第34回全国協議会（木更津）自由集会、部会シンポジウム（仮）について 宮本・谷山

- ・第34回全国協議会での産業医部会企画は自由集会として行うことが示され、そのテーマと趣旨についての説明があり、5/13より学会Hpで参加募集が開始される旨の説明がなされた。
- ・第34回（谷山・杉原・斉藤）と第35回（杉原・斉藤・真鍋・塩田）の各担当幹事のメンバー確認も併せて行われた。

⑬産業保健専門職の倫理指針を検討するWG 森口・西澤

- ・WGで作成中の指針が画面提示され、資料に沿って説明がなされた。WGメンバーとタスクホースの構成（4部会、業務執行理事等）について補足説明があり、第97回の際に開催される交流イベントへの参加が呼び掛けられた。

⑭部会員増と幹事の人数について 宮本・森口

- ・部会員・幹事数増員に伴う新任幹事および監事候補の紹介がなされ、役割（監事の役割分担含め）や今迄の流れについての確認がなされ承認された。

⑮役割分担表について 宮本

- ・資料に沿って説明がなされ、新任幹事が3名加わったうえでの今後の役割分担についての方向性について意見交換がなされた。

⑯次回幹事会の日程について 石川

- ・次回幹事会の日程確認と次々回幹事会の開催のあり方についての意見交換がなされ以下の通りとなった。

○次回幹事会：5/25(土)

○次々回〃：9/15(日)を予定日として仮決定

補足) 10月3日の夜に懇親会の場を設定する（山瀧、塩田、深井で段取り予定）

2. 報告事項

①第97回学会（広島）の準備報告 真鍋、塩田

②第 97 回学会（広島）医部会フォーラムについて 塩田、各務

③第 97 回学会（広島）部会シンポジウムについて 宮本、真鍋

- ・資料に沿って報告事項 3 点(事前登録者数参加者数：4,283 名(5/7 時点)、プログラム概要、学会 Hp への掲載概要)と、お願い事項 3 点 (Dr.JOY のシステム (ビーコンカード) を活用した DX 対応は日医の点数のみの対応と変更した点、エキスカッションの意図や趣旨、ワークスペース や WiFi 設置状況等々) の説明がなされた。

④第 34 回全国協議会（木更津）の準備報告 宮本

- ・資料に沿って説明がなされ、現時点でのプログラム構成・日程・会場準備状況・宿泊施設の手配状況等々の報告がなされた。

⑤第 98 回学会（仙台）の準備報告とフォーラムについて 菅原・各務

- ・テーマ、日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

⑥第 35 回全国協議会の準備状況について 斎藤・杉原

- ・テーマ、日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

⑦第 99 回学会（近畿地方会）について 岩根・森口

- ・日程、会場準備状況、プログラムの検討状況の報告が口頭でなされた。

⑧各種委員会報告（生涯教育、政策法制度、学術、ダイバーシティ、広報） 担当幹事

- ・遠田幹事より生涯教育委員会の議事録をもとに口頭で報告がなされた。
- ・森口副部長より政策法制度委員会での検討項目について口頭で報告がなされた。
- ・森口副部長より学術委員会での検討項目について口頭で報告がなされた。
- ・大橋幹事よりダイバーシティ委員会での検討項目（アンケート調査、第 97 回におけるフォーラム開催に伴う写真提供（各地方会の活動報告含む）依頼等々）について口頭で報告がなされた。

⑨各担当幹事報告 各幹事

- ・特になし

⑩理事会報告【資料 7】 西田

- ・西田幹事より資料をもとに理事会での検討内容等々についての報告がなされた。

⑪各地方会活動報告 各幹事

- ・全地方会活動について、各担当幹事から口頭で其々の活動状況について報告された。

以上